

水稻用殺虫剤



フルピリミン…………… 10.0%
水、界面活性剤等…………… 90.0%

農林水産省登録 第 24240 号

毒性 普通物 有効年限 4年 包装 500 ml × 20 本、5 l × 4 本

●特長

1. 新規有効成分の「フルピリミン」が、既存剤に抵抗性を持った害虫にも効果を発揮します。
2. ウンカ類、ツマグロヨコバイ、カメムシ類に高い効果を発揮します。速効的かつ持続的に作用し、カメムシ類による斑点米の被害を減らします。
3. ミツバチを始め、ウヅキコモリグモ、ヤゴなどの有用昆虫に影響はほとんどありません。

●適用作物および使用方法

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ カメムシ類	1000倍	60 ~ 150 l / 10a	収穫 7日前まで	2回 以内	散布	3回以内 (直播では種時 又は移植時までの 処理は1回以内、 本田では2回以内)
		250倍	25 l / 10a				
		8倍	0.8 l / 10a			無人航空機 による散布	

●使用上の注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 使用の際は容器をよく振って均一な状態にして使用する。
- 散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布する。
- 本剤を無人航空機による散布で使用する場合には次の注意事項を守る。
 - ①散布液の飛散によって他の動植物等への危被害あるいは自動車の塗装などへ被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるので、散布区域内の諸物件に十分留意する。
 - ②微量散布装置以外の散布器具は使用しない。
 - ③各散布機種 of 散布基準に従って実施する。
 - ④散布中薬液の漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
 - ⑤散布終了後は次の項目を守る。
 - a)使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切る。
 - b)機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さない。
- 本田の水稻に対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を用いる。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないよう注意し、特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。